夕刊 いわき民報
発行所
平市田町63
いわき民報社
社長　野沢武蔵
編集部　電381
広告専用電1222

申告法人税の納税振わず
前年のまだ半分以下

平税務署三十三年度申告法人税の十月決算に対する十二月末徴収状況は、前年の半分にも満たない暴悪の納税成績、これはナベ底不況と現金回収の悪いことが原因といわれている三十三年度法人税の申告は前年の六百九十七万三千円に対し、一千二万五千円増加していたが、これが十月決算期になると徴収猶予申請が二百五十四万二千円（二十五・二%）もあり、前年の二百五十三万二千円（三十六・三%）を十一%も上回った。十二月末までの徴収はわずか二百八十二万四千円で前年の三百六十九万七千円を八十七万三千円も下回った。このうち徴収猶予申請者の徴収率は三十七・七%と前年の八十三%の半分以下、そのうち六割弱というかんばしくない現況になる。大きな原因は前年一件もなかった漁業関係者が三十三年度は四百七十二万円を申告、そのほとんどが納税しないことで、製造業者の場合も三分の一も申告が増え、逆に前年より納税が悪い。

平税務署では今後半年間に申告に対する調査を行い更生決定をするが、納税が遅れたものには日歩六銭の督促利子税が加算されるから早急に納めるよう要望している。

3月25日執行に決る
磐城市会議員の選挙

磐城市選挙管理委員会は十二日午後一時から市役所会議室で開き、任期満了（三月三十日）にともなう市議員選挙日について協議し、三月十五日告示、三月二十五日を選挙日と決めた。従来通り小選挙区で行われるが、選挙費用制限額など細部事項については追って決めることになった。また人口移動によって市議員定数に変動があり小名浜地区は十六が十七名と一名増加、渡辺地区は二名が一名に減ったが総数は三十六名と変らない各地区の定員次の通り。

▼小名浜　十七名▼江名　九名▼泉　五名▼玉川　三名▼渡辺　一名▼鹿島　一名▼計三十六名

磐城臨時市会
あす開く

磐城市臨時市議会は十四日午前十時から開き、人口移動によって市議員定数に変動が起きたための市選挙区設置条例の一部改正条令（が、市営住宅も立ち並び人口が多い小名浜地区十六名が十七名に、渡辺地区二名が一名に）市議員選挙費七十一万二千六百円の追加更正予算案など五議案を審議する。

農政課長会議

石城地方市町村協議会では十六日午前十時半から県石城事務所会議室に各市町村の農政主管課長会議を開き農業実践大会開催などについて協議する。

鶴巻橋を新設
御厩地内新門に

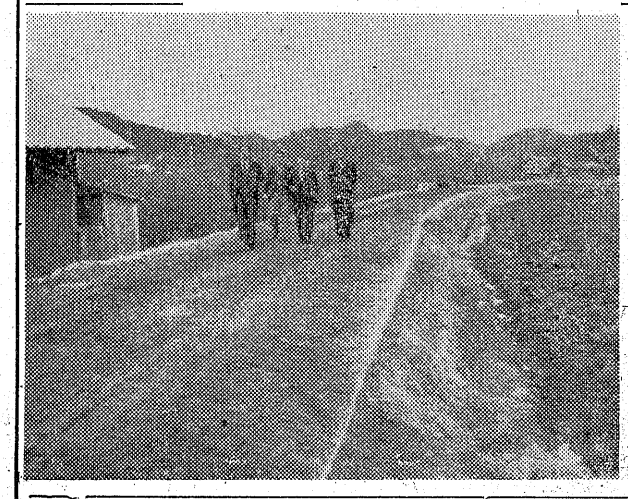
内郷市では御台境町地内新川に鶴巻橋を架設することになった。木造橋で工費四十六万円、通井組請負いで二月七日完成の予定。完成後は御台境町から国道に通ずる橋となる。現在は付近に橋が無いため国道に出るには労災病院前か、小島に遠回りをしていたもの。

平養老園道路
完成の祝賀会

平市下荒川の平養老園前から鹿島道に抜ける近道（延長五百㍍、巾六㍍）の完成祝賀会は十日午後三時から平市下荒川龍門寺に関係者多数が集まって行われた。

同道路は県が昨年十月失対事業で総工費三百万円を投じ舗工、幅二㍍の狭い道が自動車の通れる立派な道に改修されたもの。

【写真は完成した平養老園道路】



内郷駅前道路
舗装に着手

内郷市の内郷駅前都市計画事業は、いよいよ本格化し、駅前道路の舗装工事に着手した。五年計画で行っている本事業も今年で四年目を迎え、すでに幹線道路は舗装を残して出来上り、駅前広場拡張のため一部の建物と鉄道官舎の移転問題を残すだけとなったが、鉄道官舎の移転は本年度中に行うことに水戸管理局で決定しているため、拡張工事は一時見送って、一部道路の舗装工事に着手したもの。今度舗装工事に着手した道路は駅前から官入口の踏切りに通ずる幅四㍍、長さ二百㍍の道で、貨物取扱場があるところから石炭を満載した大型トラックが通るため荒れているもので、本工事が完成すれば駅前は見違えるほど美しくなる。

勿来の成人式

勿来市の成人式は十五日午前九時半から勿来第一小学校に開き、古川市長から成人証と記念品が授与され、来賓の祝辞、レクリエーションがあって終了する。該当者は七百六十七名（男三八四、女三八三）

戦後最高の初セリ
子牛二百三十頭出場

石城畜産農協では十三日午前十一時から子牛の初セリ市を同農協広場で行ったが、酪農が普及し、その技術の向上などから戦後最高の二百三十頭が出場した。仲買人は遠く金沢市や郡馬、茨城の近県から十三名も顔を見せ、会場は約二百名の生産者や買取人などでごった返し、セリ声もハズみ、一方七千円から二万二、三千円で乱取られ、なかなかの活況を呈した。なお審査の結果磐城市玉露志賀伝さんの黒毛和種「かつえ」号が優等に選ばれ、次の三十頭が入賞した。

▼優等「かつえ」＝磐城市玉露志賀伝▼等「きよひめ」＝四倉町柳生木村好考▼二等「だいとく」＝磐城市玉露志賀豊三郎「ひめなか」＝磐城市松小皇安藤力「うた三」＝平市上高久永山恭二「みちく」＝平市下神谷高岡俊雄▼三等「はるすみ」＝常磐市松須根佐藤弘「ふじしろ」＝同市藤原大井門つとむ「はるうめ」＝同市同大井あらつね一吉「ともさだ」＝磐市西郷箱崎新代伝「つぎした」＝同市岩ケ岡御木慶太郎「ごみね」＝同市同高原吉田信司郎「まちこ」＝平市上荒川草野隆重「しんれき」＝平市下山口志賀常雄

【写真は子牛の初セリ市】

◉…山城氏の話＝会社では停年者夫婦に三泊四日の慰安旅行をさせることになっているが、その旅行の日数をのばすための積立貯金の意味である。停年まで毎月五百円ずつ積むと四十八歳組は五万円、三十六歳組は二十万円となるわけだ。

日野チヨ氏が
県会出馬断念

内郷市から県会出馬を表明していた同市綴町質業日野チヨさん㈣は、母ハナさん㈥が病気に家業専念のため十三日、県会出馬を断念した。

赤井小増築落成式

平市赤井小学校の校舎増築落成式は二十日午前十一時から行う。増築は工費三百四十三万で二階建四教室（延四百十五・八平方㍍）

納税は卵の貯金で果たそう
草野婦人会

平市草野農協婦人部では二月から納税を目的とした日掛卵貯金を行うことになった。同地区では年々養鶏熱が高まり、大半の農家が養鶏しているので、農協婦人部（草野婦人会員）が主体となって始めすでに加入希望者は百名を越える好成績。集荷された卵は農協で販売される。

寸言

▼甘言で人をだまし一千万円も荒かせぎ。口手にのる方も不用心。

▼歌会に安田さん入選。歌道に17年、その感激を新たに更に精進。

▼児童相談所に毎週牛乳を寄付する篤志者が現れた。与えよしからば与えられん。

天気予報
お好み食堂　玉半提供
（小名浜測候所発表）

【今晩】南東のち北西の風、晴れのちくもり勝ち、一時小雪か小雨。

【明日】北西の風はじめくもり勝ち、ところによってしぐれ、のち晴れ。時々くもり。

波やや高い。海上、今晩、風波ある。明日、風

失保事務組合、設立の気運
四倉セメント協組、他にさきがけ

平職安では失業保険法が昨年十月一日に改正となり、雇用者五人以上の場合だけに失業保険法が適要されていたものを一人以上の場合も設けて事務の手続が行えることになり、石城地方では四倉町のセメント瓦工場で組織している四倉セメント協同組合が他にさきがけて、失業保険事務組合を設立する気運が高まり、十五日午後一時から同協同組合で初の事務組合設立打合会を開くことになった。

平職安の調べによると四倉セメント協同組合には三十二事業場が加盟しているが、家族以外の者を雇用しているのは二十七事業場あり、このうちこれまでに失業保険法の適用を受けているものは中西、四倉、吉田組、万年瓦の四事業場だけ。他の二十三事業場の約百五十名の従業員が退職しても失業保険をもらえないところから、保険法の改正を機会に全従業員の適用を狙うことになったもの。この事務組合は各事業場主から委託されて失業保険に関する事務、手続きを行うもので、年間に失業保険料を九十五%完納した場合は、保険料の千分の五が補助されることになっている。なお同職安ではこれをモデルケースとし、まだ二、三割しか適用を受けていない平市内の商店街の指導に力を入れる方針を固めている。

◉…磐城セメント四倉工場に〝いのしし会〟が生れた。同工場従業員のうち亥歳生れの三十六人が会員で、十一日相屋で結成総会を開き、会長に山城浅治氏がなった。会員は六十歳が岡田工場長ただ一人。四十八歳は山城氏ら十四人、三十六歳は二十一人、他は二十四歳の人総会で毎月一口五百円ずつ五十五歳の停年まで貯金することにした

いのしし会
四倉に生る

忙いのが世の中！
読む事より聞く方が早いです……
新しい事ではありませんが
ラジオは何と言っても
便利なものです
新製品　ビクター、東芝
ナショナル　日立
毎月1,000円から10回払
絶対保証付販売
ホーム電気 日中
平市3丁目 勧銀前 TEL・576

◉入園願書受付開始
一、新学年度入園願書の受付を開始いたします
（毎日午前九時―午後三時　但し、日曜日を除く）
一、園則及び、願書用紙は用意してありますから御来園下さい
平市大町（創立昭和二年）
清風幼稚園

度数制に絶対必要な回転台及び
電話貯金箱（アフターサービス付）（類似品に御注意）
日本電電公社電通共済会浜通り代行店
平二丁目　日東商会
電四二八

三幸楽器部
平市三丁目大通り電506

産婦人科
中田医院
平市材木町桑楽館前
電話一〇九七番

世界の果て迄
ナットウ〈〈
こどもの成育に必要なビタミンB2を多量に含む日本の納豆は今世界中の栄養学者が注目し、後進国の児童の栄養源にしようと研究中なそうです。
○藤越納豆　二コ　十五円
○玉うどん　一コ　九円
○ゆでせんまい　一袋　五〇円
水曜特売　新たくあん　百匁　四円
藤越　市堺　平駅

成人おめでとう わたしの感想 ④

個性を生かして

大阪造船事務員 佐藤啓子

ヒガミかも知れないが今までは何事につけても子供扱いにされて来たが、これを機会に社会的にも一個人として認められるワケで胸がふくらむ思いがするとともに、しっかりしなくちゃとも思う。社会では学生時代に考えていたことが通らず、結局「長いものにはまかれろ」ということを痛切に感じて来ましたが、自分の個性全部を殺すのではなくある程度は個性を生かしてゆき度い。清い男女の交際まで色目で見られるのは苦痛だ。わたしは勝気だから二才ぐらい上のおとなしい愛情のある人と結婚したい。今のハイティーンに犯罪が多くなったのは映画などに余り感化され易いからで、もっと意志の強い人になって欲しい。選挙も親などに感化されず、自分で選ぶ積りです。（平市新川町二七）

正しい事を実行

農業 新妻隆男

十五日からは天下晴れて大人の仲間入りが出来ることになり、こんなにうれしいことはない。今までは何かに引け目を感じていたが、これからはだれにも遠慮せず自分が正しいと思ったことはどしどし実行したい。それだけに新たに大きな責任を感ずる。今年はまず生活改善の立場から台所をぜひ改良して将来に備えたい。地方選挙も間近にせまって来たが初めて行う選挙なのでだれにも左右されず、自分でこの人と思った人に投票する。（草野沢帯）

誠実な男性と結婚

竹林病院看護婦 大谷千代美

選挙権を得たことで自分の今後の行動に重大な責任を感じます。今まで親や先輩から子供扱いにされて甘えていたが、十代の世界から見離されるような不安な気持です。完全にハイティーンの世界から抜出すと、広い社会の現状を知らなくてはならないので恐しいが、社会責任ということを土台に人生の計画を立て、ただ楽しんで来た読書や音楽なども新聞、ラジオといったニュースとともに社会勉強の道標にしたい。女性は結婚へのゴールインが最良の道だと思いますので生活力のある誠実な人と結婚したいと思います。また私達の職業は先輩後輩のオキテがきびしいが、今度は成人したのだから後輩の良き話相手となります。（内郷市御厩）

スポーツは続ける

力行会報徳社員 遠藤清

お前は卯年生れだから落つきがないと小さい時から親に注意されたこともいくらか手伝って、高校入学当時からどっしりした身心を錬えたいと思って、スポーツは柔道（現在二段）ときめた。しかし就職してみて、働く生活の中からは、なかなか勉強も運動も出来ないことがわかり今迄教養らしいものを何一つ、身につけていない自分をフガイなく思いながら成人となった。だが好きなスポーツだけは止めない「柔よく剛を制す」ことを確信するからだ。過去二ヵ年間雨の日も風の夕、毎日ペダルを踏んで、数十軒を訪れるうちにどうやら、おぼろげに判ったことは、人に頭を下げることのムツカしいこと、ひとの幸福を共に喜ぶこと、不幸や災難を慰め合うことであった。大事なものは隣人に対する愛であると思う。「冬来りなば春遠からじ」必ず輝かしい朝がやって来ることを信じ、毎日清く明るく生きて行きたい。（平市豊間）

芸妓の中の芸妓に

芸妓〃小桃〃 山野れい子

大人になってかえって淋しいワ。ハイティーンのころみたいに思いきった遊びが出来なくなるでしょう。大人ですからこれからは他人に批判されないような生活をしなければいけないものネ。でも選挙権を持てるのは魅力ヨ。ハッキリはいえないが政党を主体に立派な人を選ぶワ。芸妓になって足かけ三年、つらいことが多かった。でももう大人でしょう何時までもメソメソしていられないから芸道一筋に命をかけ、おねえさん達のように〃芸妓の中の芸妓〃になるよう勉強します。理想の人は三十才位の実業家で、表面は柔らかくシンの堅い人…（平市田町一四、分寿々）

産米を22％に補正 平市農委が県に陳情

平市農業委員会では十三日午後一時から公会堂日本間で全体協議会を開き、台風被害などによる三十三年度産米の減額補正を一万一千四百五十五俵二十二キロ（約二千八百六十四石）と決め、県当局に減額補正を陳情することに決めた。これは平市の売渡し指示量五万五千八百二十九俵四十五キロに対し二十二％に当る大幅な補正量で、このまま補正量が決れば、補正後の売渡し量は四万四千三百七十四俵二十四キロになる。なお平市の三十五年度産米売渡し状況は十三日現在四万二千八百六十俵となっている。

カバヤキくん製 県水試、試作に成功

サンマみりん干しの売行き不振にかわるものとして県水試では、昨年十一月初めからサンマのカバくん（カバヤキくん製）製法を研究していたが試作に成功、県下の海産加工業者に指導することになった。サンマのみりん干し加工は最近とみに売行きが振わず、加工業者がお手あげの現状にあるところから、この打開策として県水試大島直雄技師が中心となって、カバくん製法について研究を続けていたが良品を作ることに成功…海産加工業者に指導することになったもの。

カバくんはカバヤキとくん製法を併用した製法でサンマを腹開き、又は背開きをして食塩水で晒白した調味料（ミリン干より甘味を薄くする）に十五時間ないし二十時間を浸漬する。そのご二時間風乾を行ってから、くん室に納め、くん煙（六十―七十度C）に二時間ほどあて、山吹色を帯びたところを見計って取り出し、放冷、更に肉肌を炉面に向けて火にあぶると背の部分が金色と銀色にかわりカバヤキそっくりの味が出るというもの

大島技師の話＝サンマのカバくんは全国でも珍らしい製法だと思う。この製品は二十日間の保存期間は研究の結果保証できる。ただみりん干より幾らかコスト高につくのが難点で、製品一尾十五円ぐらいにつくが、カバヤキとくん製の特味をかねているので一般家庭のおそう菜にうけると思う。原料魚は鮮魚、冷凍、いずれでも結構。さっそく県下の海産加工業者に指導して本県の名産品として売出してゆきたい。

中江農業水路 工事の落成式 17日現場で行う

平市鎌田喜藤作から中神谷字中塩に至る延一千二百㍍の中江農業水路工事の落成式は十七日午前十時から現場で行う。同水路は二十七年に県の災害復興事業で始ったのを地元に移管、地元と市補助の工費三百万円で七カ年にわたり、部落民延二千百名が労役に参加して造ったもので、小川江筋からの引水により沿線七十ヘクタールの田畑がうるおう。

競輪売上げ好調 六千二百万

平市一月競輪は十二日で終り六千二百七十七万五千八百円（前節三千二百二十七万百円、後節三千五十万五千七百円）という好売上げをおさめた。これは前年一月の六千九百四十七万七千円に次ぐ売上げで、後節三日目の十二日には五レース（2―1）一万三千二十円の大穴を出すなど幸先のよいスタートだった。

植田副議長当選祝賀会

四倉町県会議員植田萬治郎氏の県議会副議長当選祝賀会は十二日午後一時四倉中学校で開いた。参会者二百八、新妻町会議長、鈴木町長、菅波（茂）後援会長らがそれぞれあいさつ。植田県議が謝辞をのべ、鈴木町長の発声で植田県議の万歳を三唱盛会だった。

商工

‖鯨岡洋裁で校名改名‖平市梅香町鯨岡洋裁学院では校舎の増改築を行い、二月から校名を「平ドレスメーカー女学院」と改名する。

‖キクヤでピアノ教室‖平市二丁目角キクヤ楽器では毎週土、日にピアノ教室。貸ピアノは月、火、木、金。

市況

魚類

（単位キロ＝円）（十二日午後―十三日正午）

十二日午後小名浜ではセグロイワシが引続いて水揚げされた。底引ものはアカジ、メヌキ等のアカモノに加えてアブラザメの漁も始まった。

【小名浜港】底引六隻、巻網四カ統 ▼セグロイワシ 三万三千五百キロ 四三六―一七・五〇▼アンコウ 千五百キロ 二〇―一二▼水ダコ 二千五百キロ 六〇―四八▼イシモチ 千二百キロ 八〇―五〇▼ナメタ 五百キロ 一三〇―八〇▼アナゴ 四百五十キロ 一三五―一〇〇▼カスモダイ 三百キロ 二五▼マダコ 百五十キロ 一二五―一〇〇▼ノドグロ 百五十キロ 八〇―六〇▲ヒラメ百五十キロ 三〇〇―一五〇▼小エビ 百五十キロ 三〇〇―二〇〇▼エビ 百二十キロ 三〇〇―二〇〇▼小ダイ 百キロ 二五〇―一〇〇▼ヤナギ 百キロ 二〇〇―一〇〇▼ソゲ 百キロ 一四〇―一三〇

【江名港】底引六隻 ▼アカジ 二万二千五百キロ（大）七〇―六〇（小）二一―三三▼メヌキ 五千六百二十キロ（大）八〇―六〇（小）八三―七二▼タコ 三千七百五十キロ 六七―四五

【中之作港】底引五隻 ▼アブラザメ 七千五百キロ 三九―三三▼タコ 七千五百キロ 七三―五九▼小アカジ 七千五百キロ 一六▼メヌキ 千三百キロ 七八

野菜

▼ホウレン草 一〇―五（東）▼アブラナ 三・五〇―一・五〇（〃）▼ネギ 四〇―二七（キロ）▼白菜 一〇―五（〃）▼ニンジン 三五―一五（〃）▼ゴボウ 三三―二五（〃）▼大根 一〇―三（〃）▼キャベツ 三三―二〇（〃）▼サツマイモ 一五―六（〃）▼ジャガイモ 一五―一〇（〃）▼キリイモ 四〇―一五（〃）▼ヤマトイモ 六五―三〇（〃）▼ホシイモ 二七―一五（〃）▼ヘラナ 六―二（〃）▼レンコン 五〇―四〇（〃）▼モヤシ 一五（〃）▼タマゴ 一二・五〇―九・五〇（コ）▼ホシ大根 一六―一〇（キロ）（丸平青果市場調べ）

1959 謹賀新年 昭和三十四年

常磐湯本 温泉神社 宮司 佐波古直貞

株式会社 寺亀醸造元 常磐市湯本三函一一九 電二一

常磐郵便局 局長 助川寅之助 庶務会計課長 渡辺広 郵便課長 猪股峯二 貯金保険課長 永山秀明

株式会社 湯本中央青果市場 取締役社長 森山喜祐

箱崎禎秀 常磐市関船宿内 電四一四の乙

湯本専門店会 理事長 日野利春 専務理事 九頭見周助 常務理事 若松英三

常磐市立磐崎中学校PTA 会長 磯上佐衛司 副会長 佐藤清一 〃 志賀き一郎 〃 酒井徹雄 〃 滝亀勝

常磐市磐崎小学校PTA 会長 國井政扶 副会長 箱崎善一 〃 太田イト

住友生命常磐営業所 所長 岡部政一 代理店 磯上佐衛司

湯本婦人会 会長 沢田よし 副会長 長谷川操 副会長 織内広子 会計 長岡ふく 〃 大平とよ

湯本温泉芸妓芸妓寮組合

常磐市立湯本第一中学校 父母と教師の会会長 三河勝 副会長 岩野留作 経理長 稲毛実 〃 駒木根定之助 校長 猪狩不二男

常磐市立湯本第二中学校 PTA会長 小林修次 PTA副会長 斎藤とみ子 副会長 佐藤力夫 校長 賀沢龍雄

常磐市立湯本第一小学校 父母と教師の会 会長 後藤俊雄 副会長 大平久子 副会長 比佐孝祐 会計長 鈴木清長 ほか会員一同

常磐市立湯本第二小学校 父母と教師の会 会長 橋本祐壽 副会長 鬼木康至 副会長 太田守 〃 菊池ヒデ子 校長 藁谷伸六郎

常磐市立湯本第三小学校 PTA会長 高原卯吉 副会長 鵜沼よしえ 副会長 山田清利 校長 若松郁哉

常磐市立藤原小学校 父母と教師の会 会長 皆川源三郎 校長 雫石太郎

福島県共同募金常磐分会 会長 会田富治 副会長 遠藤香一

常磐市社会福祉協議会 会長 会田富治 副会長 大内一美 〃 渡辺卯之治

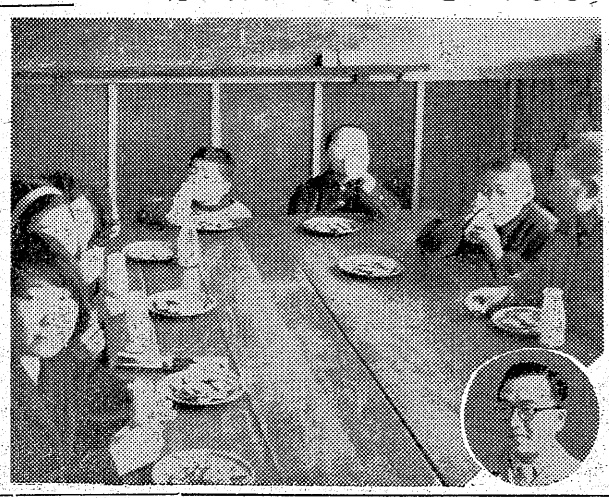
平税務署 署長 熊谷治郎

最良の年と大喜び
児童相談所にデラックスな贈物
岡田氏牛乳を毎週提供
平仏教会はテレビ寄贈

平児童相談所の不遇な子供たちに対する同情の金品は日を追って増えているが、十二日には岡田牛乳から今後毎週一回牛乳の無料提供平仏教会からはテレビを寄贈するという贈物デラックス版に、子供たちは夢のようだと最良の年を喜びあっている。平市鎌田岡田牛乳会社社長岡田健治氏(四四)は、以前から相談所の子供達に少しでも栄養を与えたいと思っていたが、年も新たまったので酪農部の阿部さんを代理として「当社は今後永久に毎月曜日子供全員に一人一本ずつ牛乳を贈りたい」と申入れた。同所ではかねがね子供達に牛乳を支給したいと思っていたが、一人当り一日の食費六十七円八十銭（オヤツ代五円も含む）と日用品、衣類代十九円四十五銭ではとても不可能な問題だっただけに感激している。この牛乳は午後三時のオヤツ時に暖くして渡されるが、この日、全員に配られ、舌づつみをうった。

また平仏教会ではかねて同所の子供達がテレビを欲しがっていることをきき、資金カンパをしていたが、〃成人の日〃の十五日にようやく贈れる段取りとなり、十日同所に連絡した。子供達は十五日からテレビがみられるとあっていまから指折り数えて待ちこがれている。

【写真は牛乳に舌づつみをうつ子供達】



助け合いの寄付

磐城市福祉事務所に十二日旧オ末助け合い運動の一助にと次のとおり寄託があった。▼千円、相子島、南海荘西田トメさん▼三千円、江名高野山金剛講真福寺支部。

偽名刺と甘言が資本
一千万円詐欺夫婦を送検

【既報】平署では昨年十二月五日、架空の会社を設立夫婦で一千万円にのぼる詐欺行脚を続けていた、平市中平窪生れ住居不定無職自称大栄商事事務取締役鈴木利久(二八)と勿来市白米町生れ住居不定無職、自称磐城鉱業会社監査役下山田昭子(二五)の二人を捕え、三十八日間にわたって取調べていたが、その全容が判ったので十二日、下山田を送検した。二人の詐欺行脚は事業失敗からの穴埋めに始ったが、会社重役の名刺と巧みな口先の二つがその資本だったという。以下はその偏歴と手口。

鈴木利久は昭和三十年一日から十二月まで平市で東映商事をはじめ翌三十一年同市大町に大栄商事をつくったがいずれも失敗、三十三年一月から平市田町元食堂「満腹」を借りてパチンコ店を経営したが、これも僅か四カ月足らずで経営不振となった。相次ぐ失敗にあせった鈴木は競輪に手を出し二百万円の借金をつくった。

この穴埋め方法として他人の土地を名儀に、二重、三重から八重抵当にして金を借り集め、その金をタライ回しにしていた。このころ下山田昭子と知り合い二人で九月十二日平市紺屋町平和タクシーの車代二千円をただで乗り回したほか、昭子は監査役の名刺を利用、月賦返済を状件に九月十五日―十月七日まで水戸市泉町〃伊勢甚〃から九回にわたり婦人服、背広、オーバなど二十五点（十万二千円相当）を詐欺して二束三文に売却、十月一日―八日まで水戸市南三の丸山荘旅館で三万七千円の無銭宿泊、十月三十日には勿来市植田町飲食店「赤ひょうたん」で千五百円を無銭飲食、十一月四日平市白銀町おしゃれの店「園」から化粧品など二十四点（六千五百円相当）をだましとり、六日、水戸市南町蜂屋時計店から腕時計三個（六万三千円相当）八日同市泉町ふとん販売業藤井明さん方から夜具一組、座ぶとんなど七点（四万三千円相当）二十一日茨城県常陸太田市茨城県町村会主事皆川功さんから現金二万五千円を詐欺、二十七日―二十九日まで常磐市湯本字三函〃古滝旅館〃で一万四千円の無銭宿泊、十一月下旬ころ平市谷川瀬山崎某さんには売渡米を出せば返えすと他人名儀の土地を見せて二回にわたり現金百万五千円をだましとるなど、判っただけで十八件、計百五十万円のサギを働いた。

平署ではあと百万円の詐欺があるとみて引続き鈴木を調べている。十二日送検された昭子は係官に「ホンの穴埋めにと思って始ったことがこんなに大きくなってしまった。恐ろしいことだ」と述懐していた。

炭車と鉄柱にはさまれ死亡

十二日午後十時三十五分ころ常磐炭鉱鹿島坑外で運搬天田中三郎さん(三二)＝内郷市宮町＝は炭車操業中誤って炭車と鉄柱にはさまれ、腰盤骨折で福島労災病院に担ぎ込まれたが、十三日午前二時半死亡した。

オートに老人ひかれ即死

十二日午後三時ごろ磐城市本町県道上で同市定西無職菅野モトさん(七八)は道路を横切ろうとして、走ってきた同市滝尻字定ノ田、和田製材K・K・所有のオート三輪車＝運転手、同市滝尻字定ノ田和田義夫さん(二八)＝に頭部をひかれ即死。

磐城市内小中教頭会議

磐城市小中学校長会主催の市内教頭会は十六日午後一時半から渡辺中学校で開いて改訂指導要領について打合せる。

毎月誕生会で盲ろう生激励
平光寮

四十七名の盲ろう生が寄宿する平市才槌小路平光寮（寮長樋口義雄氏）では、ことしから毎月十五日に誕生会を催し、耳、眼の不自由な子供たちを励ますことになった。寄宿生たちは冬、夏休みのほかはあまり家庭的環境に恵まれないので、月々の誕生日を毎月十五日祝ってやり、家庭的な喜びと不具でも人生を強くいきる生き甲斐を味わせるもので、一月十五日には早速第一回の誕生会を催す。

新入学児童の健康診断行う
小名浜一小

○…磐城市小名浜一小（校長渡辺保氏）の新入学児童の健康診断と智能テストは十二日、市内小学校のトップを切って行われた。学校保健法が改正されて、ことしから初めて実施されたが、父兄に付きそわれた就学児童は神妙な面持ちで医師の診察と智能テストをうけたが、さすがに嬉しそうだった。

○…健康診断は入学前に児童の健康状態を把握して学級編成などの資料とするもので、十三日も引続いて実施、児童五百名が終えた。他小学校でも日程に従って実施して市内の新入児童千六百名がうけることになっている。

市内一周駅伝
磐城で15日行う

磐城市教委主催の第二回市内一周市民駅伝競走は十五日午前十時小名浜一中校庭を発走点として行われる。参加は小名浜一区、二区、玉川、泉、江名、渡辺、鹿島の七地区の一般青年、高校、中学校などの十七チーム。

コースは❶コース小名浜一中―鹿島街道―船戸バス停留所四・三キロ❷コース船戸停留所―飯田金成―野田―六号国道島橋―四・三キロ❸コース島橋―新国道―滝尻―泉駅前四・八キロ❹コース泉駅前―渡辺農協前折返し泉駅前四・七キロ❺コース泉駅前―小名浜一小前四・五キロ❻コース一小前―江名街道―江名沖見屋前六・一キロ❼コースこれを折返して小名浜一中まで六・一キロの全長三十四・九キロ。

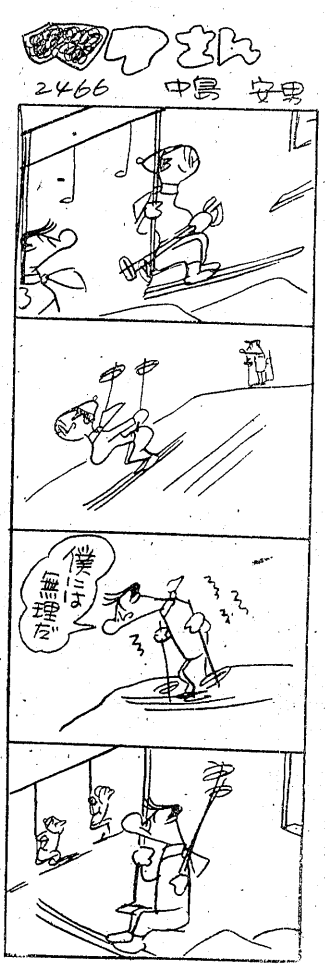
なお十三日午後一時から駅伝競走監督主将会議を小名浜公民館で開いてルールの取決めのほか役員を選任する。

歌会始に安田さん参席
四倉　十七年間、歌を愛す

御題「窓」の宮中歌会始の儀は十二日午前十時から皇后仮宮殿西の間に両陛下、皇太子を始め光栄の入選者たちが参列して行われたが歌会始に応募した平市月見町佐藤鉄工所勤務安田健治氏(三七)＝四倉町本町＝の歌が入選、安田氏は晴れの参列の栄に浴し、読みあげられた自作

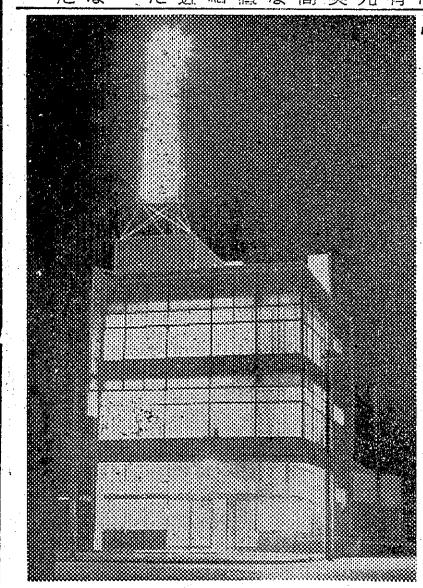
二番方の午後を　灯ともす窓見えてセメント工場　いたく粉舞に歌人としての感激を新たにした式後両陛下から春慶塗り菊模様の短冊箱をいただいた。

安田さんが歌をよみ始めたのは二十才のころで、歌好きの妹房子さんの影響といっている。その後新聞、雑誌の短歌欄に投稿するなど十七年間、趣味を歌に貫いた地元の歌人。

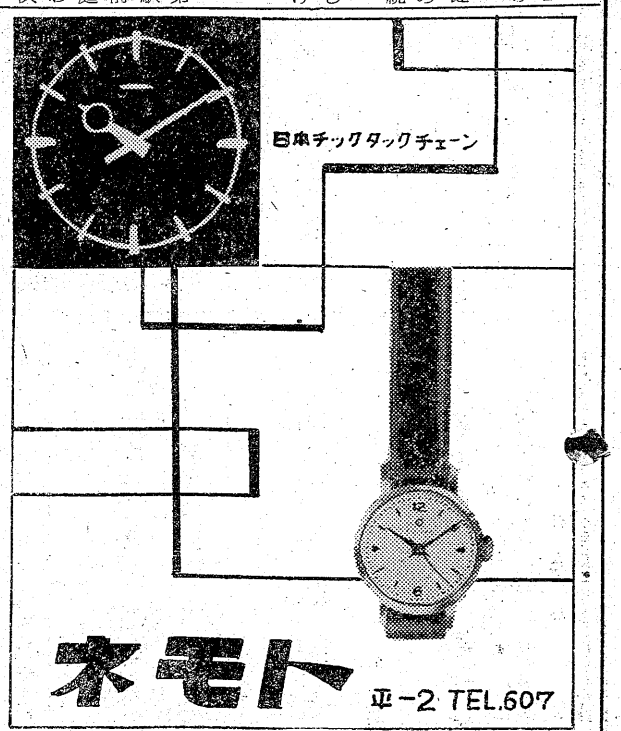


成福丸乗組員の合同慰霊祭
ミッドウェー

島沖合で去る二日沈没した磐城市中ノ作字榎戸一八新妻豊さん所有のマグロ延繩漁船第二成福丸（九九ト）の乗組員二十三名の合同英霊祭は、十八日正午から高知県高岡郡宇佐町で挙行されることになった。乗組員は成福丸の沈没直前、イカダに移乗したという連絡があって、米極東海軍と現場付近の僚船などが出動、行方を深したが遂に一人も発見出来ないまま、去る七日捜索を打切ったもの。なお乗組員のほとんどが高知県人だった。


看板
塗装
ネオン
弊社設計施工　日本電建平支社ネオン・サーチライト塔
平AD社
平市駅前　電1300

品質本位
全国清酒品評会
第一回
第二回
第三回
第四回
連続優等賞受領
一番よい酒
清酒
たいら正宗
丸玉合名会社
TEL・453


日本チックタックチェーン
ネモト
平-2 TEL.607

堀江新太郎氏のメイ
〝花園ひろみ〟後援会
猪狩四郎氏会長に発足

花園ひろみ

東映映画京都撮影所の青春スター「花園ひろみ」の後援会が平市に生れ、早速活動を始めた。それは石城建設業界の大先輩である堀江新太郎氏のメイにあたるため、有志が集って後援会を結成したもので事務所は平市二丁目谷口内におかれた。役員は左の通り。

▼会長　猪狩四郎▼副会長　島田克吉、谷口保子▼会計　平安信用組合▼顧問　堀江新太郎、斎藤伊知朗

花園ひろみは本名花沢浩美、昭和十五年九月一日生れで一メ五十七四十五キ、現在文化学院英語科在学中で、昭和三十年から劇団〝若草〟に所属、明治座の新国劇公演「初恋」で辰巳柳太郎の妹役で好演し、テレビ、映画で活躍し昭和三十二年東映第四期ニューフェイスに応募合格、養成所時代からの芸熱心が認められ「旅笠道中」に抜てきされ、大川橋蔵の相手役をつとめた。特技は日本舞踊で若柳流をよくし、茶道、華道もたしなんでいる。代表作＝「旅笠道中」「少年三国志」「若君千両傘」「大江戸七人衆」「紅鶴屋敷」最近作「ふり袖さくら」

教員研究物展覧会
平で29日から

平市内小学校教員研究物展覧会は二十九日から三日間平一小講堂で開き、学校経営、学級経営、教科研究、教材教具の研究、その他の五分類に分け研究作品が展示される。

民報映画案内

◇平市　十四日まで
★世界館（六・二一）白昼の侵入者（七・一八）血文字船（八・四二）親不孝通り
★東映劇場（五・三〇）魔人の爪（六・五〇）忠臣蔵
★平館（六・二〇）忘れ得ぬ人大会（八・四〇）嵐を呼ぶ友情
★民劇（七・一三）若旦那大いに頑張る（八・二六）隠し砦の三悪人（二十一日まで）
★平新東宝（七・一〇）裸女と殺人迷路（八・四三）殺人犯七つの顔
★ひかり座（六・四〇）草原の野獣（八・三五）シンバッド七回目の航海（十七日まで）
★聚楽館（六・五〇）パジャマゲーム（八・五〇）ゴーストタウンの決斗（十九日まで）
◇内郷市　十四日まで
★綴映劇　夜六時三〇分　二等兵物語・ああ戦友の巻　紅の翼　哀愁の高速道路
★第二イワキ　夜六時三〇分　さようなら今日は　喧嘩笠　点と線
◇磐城市小名浜　十四日まで
★国際　人生劇場　都会という港　皇太子様おめでとう
★東映　お坊主天狗　一丁目一番地　丹下左膳
★磐城座　溪谷の騎士　ラブレター　危険な群像
★金星座　野を駈ける少女　爆笑王座征服　喜びも悲しみも幾歳月
★銀星座　バファロー平原　軍曹さんは暇がない（十九日まで）

100頁

頭だけさとくとも、心が伴わぬと人物にはなれない。口に名言卓説を吐くといえども、その行いが地についていないと、何時かはメッキがはげてくる。私なんかは頭がはげてきたが…。ともあれ今ここで口にしなければ、自分の立場が鮮明にならぬ、と思っても、大勢の前で、恥をかく人がいることを考えるとそれもできない。自分が可愛いか、相手を生かすか、ドロをぬるかーなど、例えばの話だが、生きていく上には、頭だけでなくハラを使うことが沢山あるものだ。頭はしゃべってみると、大体レベルは判るが、ハラは割ってみないうちは判らない。話の上では、その人を反対しているくせにハラでは、相手の様子（ハラ）を探ぐるために、わざと逆逆と話を展開していく人もある。ハラ黒い人にかかると、ケツの毛まで抜かれるから御用心。もっとも用心深くて、ハラばかり探っているようでも、ロクデナシになるから、その辺の呼吸も学ぶべし。（龍人）

慶弔録

◇平市◇　一月十二日届出
【出生】▼中村弘一（北海道札幌市　大吉二男）▼荒木睦子（磐城市江名　誠長女）▼岡田みゆき（内郷市綴町　好孝二女）▼国分教子（手摑九　喜代明二女）▼須藤喜代子（赤井諸荷三五　次男三女）▼佐川昌裕（磐城市滝尻　昌平長男）▼小泉武夫（五色町二五　三郎長男）▼服部美津子（常磐市湯本貞雄二女）
◇磐城市◇　十日届出
【出生】▼野部裕子（元分七　美夫長女）▼相川光男（船引場二七三郎二男）▼鈴木貞夫（下町二一八　年男長男）▼小野浩司（上町一二　辰男二男）
【結婚】▼市瀬昭男（長野県下伊那郡喬木村六三〇　ヒデヨ五男）大河原年子（須賀川市泉田字西ノ内一一一　けさ司四女）
十二日届出
【出生】▼宮田貴秀（松之中一四実二男）▼小野明美（岡小名字長枕七四　正長女）
【結婚】▼水野武久（古港二一政次郎五男）吉田秀子（滝尻字南坪二九　勇二女）
【死亡】▼高津ヨシ（九〇）＝岡小名字長枕七二▼本間栄光（一八）＝白字網取二六▼山内平次郎（七六）＝播磨ノ作一一一
◇勿来市◇
【出生】▼今田忠博（錦町　忠長男）▼鴨番世子（植田町　那夫長女）▼富岡由利子（植田町佐糠美二久長女）▼大平博（植田町善一二男）

ラジオ　13日

◇NHK　第一　1040KC
7・30　浪花演芸会「お笑い夫と妻」浪花千栄子　海原お浜　小浜　秋山右楽　夏川左楽
8・00　素人即席演芸会　審査員水野春三　桂三木助　一竜斎貞丈　寸劇　加藤玉枝　斎藤隆他
30　「お笑い三人組」（読みたいものは）猫八　貞鳳　小金馬
9・15　民謡をたずねて❶江差追分❷いやさか節❸きんきらきん❹日高のこつこつ節他
40　時の動き
◇NHK　第二　1540KC
7・15　日ソ漁業交渉裏話　飼手誉四
30　❶「風の中の瞳」❷「ドクトル・ビュルゲルの運命」（カロッサ作）原田義人
8・05　教養特集　座談会「高血圧の医学」橋本寛敏　大島研三　刈米達夫　司会美甘義夫
9・00　舞台中継（歌舞伎座）「天衣紛上野初花」幸四郎　勘三郎　中車　宗十郎　又五郎他
◇ラジオ福島　800KC
7・15　人情夜話「今日牛の日」
30　お笑い街頭録音　司会中田ダイマル・ラケット
8・00　金語楼のおゝワンダフル物語　金語楼他
30　森繁千一夜「空想博物館」　森繁久彌他
9・00　三平の歌床屋　鳳八千代　林家三平
30　スリラードラマ「犯人を挙げろ」武藤英司　安田洋子　宮川洋一他

テレビ　NHK

7・15　劇「バス通り裏」須藤出穂作　十朱幸代　谷川勝巳　織賀邦江
30　ゼスチュア（紅）水の江滝子　（白）柳家金語楼　司会小川アナ
8・00　黄金の椅子「西條八十ショー」ゲスト江口夜詩　万城目正　歌霧島昇　二葉あき子　渡辺はま子　他
30　「お笑い三人組」　楠トシエ　音羽美子他
9・00　劇「いとしい恋人たち」佐多稲子作　原泉　吉行和子　兼内吉男　奈良岡朋子　香川久美子　牧田耕治
◇勿来市植田　十四日まで
★菊多館　夜七時　修羅八荒　点と線
★うえた館　夜五時三〇分　絶唱　続夫婦百景　勢揃い江戸ッ子長屋

急募　▽女店員若干名▽通住共可▽委細面談　高給優遇　磐城市小名浜日冷前スタンド・バー白梅電一〇四五

電話　売度し▽磐城局管内▽希望者はいわき民報社小名浜支社（電五八六）へ

貸家　▽アパート新築落成▽メートル電気、水道設備完備▽平旧市内交通便　電二〇七一

募集　▽バーテン見習▽二十才位まで▽通勤住込自由▽給委細面談平市仲田町電一九一九　バー　陣（じん）

男女　店員募集▽委細面談　平市堂の前二〇　日本電建平支社前　理容器具　小針商店

募集　▽女店員　二名　▽コック見習　一名　▽委細面談　レストラン　ブラジル　平市田町ひかり座前　電九九〇

パネル・腕木　フローリング　建築材加工　㈱東洋木工有限会社　平市童子町（平工高前）　御連絡は電一二三六・一八三五番へ

新しい宣伝媒体に…広告の王彩光サイン　浜通特約店　照都広告　平市四丁目（本局裏）電九一四

肛門科　外科　上田醫院　平市南町（平局裏通）電話一二九番

寒さに負けぬ栄養補給に…　スパゲッティ　イタリアン　ミートソース　マカロニ　チキン　ビーフ　レストラン　パール　平・三田小路　電1388

全国清酒品評会　優等賞受領　うまい酒　松の友　したしまれている　醸吟場造酒田豊　平市野草町

1959　年四十三和昭　年新賀謹

樋田建設株式会社　取締役社長　樋田清　勿来市植田町　電話四六五番

福島県勿来地区　自家用自動車組合　勿来市植田町本町　電二〇七番

銘菓　弓掛　米屋　勿来市植田町本町　電三二八番

運輸省認定二級重整備工場　有限会社　常南自動車工場　栗田七五三夫　勿来市植田町台町　電五番

渡重商店　渡辺重三郎　勿来市植田町　電話一〇番

大和屋衣料店　勿来市植田台町　電話三一六番

植田郵便局長　星克夫
勿来郵便局長　赤津作衛
錦郵便局長　金成源右衛門

植田土木事務所　所長　奥山文雄

勿来市校長会

植田町商工会
植田町専門店会

勿来市金融団

うまい醤油　うまい味噌　株式会社　ホシ友　勿来市錦町　電五四・三〇五

花井乃誉　大平酒造店　勿来市　電話五七番

銘菓小弁本舗　内田屋　勿来市植田町　電話三六番

清福

稲万歳

植田主要食糧配給組合　理事長　菅野徳蔵　電話二六七番

勿来市医師会

勿来市建設業親和会　会長　成瀬巴三　副会長　中山みよ　副会長　星初太郎　会計　五十嵐金彌　外役員　一同